

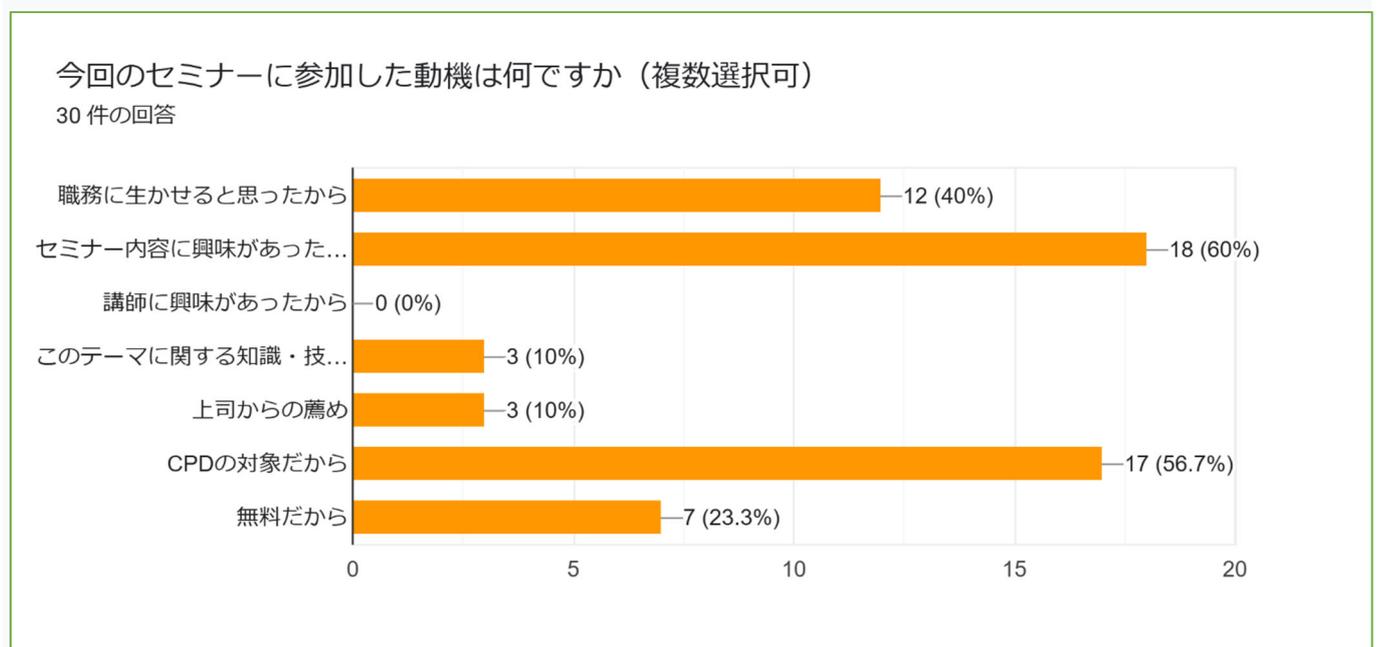
建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

1. 参加状況

区分	当初申込み	受講可人数	参加者	出席率
県	8	8	8	100.0%
市町村	1	1	1	100.0%
建設業	19	19	14	73.7%
コンサルタント	15	15	13	86.7%
その他	3	3	3	100.0%
計	46	46	39	84.8%

2. 今回の講習会に参加した動機は何ですか（複数選択可）



その他の場合や上記の具体的な理由を記入ください

- CPD 対象だったため
- 島根県内でも担い手不足が目立つので、何か対策が無いのか模索していたため。
- 所属する会社でもDXの取り組みを推進していることから、先進事例を学びたいと思った。
- 講習内容に興味があったから
- 特に DX や ICT 活用についての事例紹介に興味ありでした。

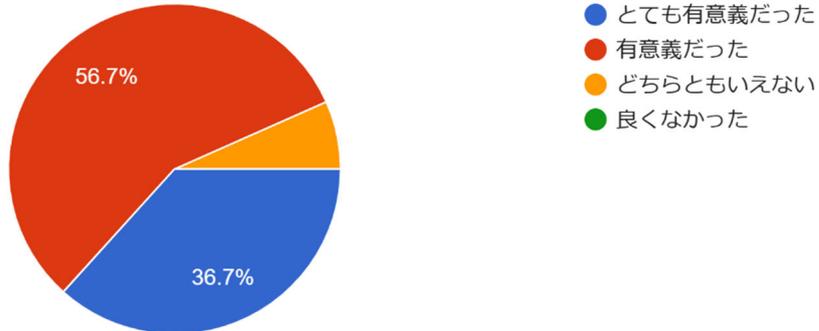
建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

この講習会は有意義でしたか

このセミナーは有意義でしたか

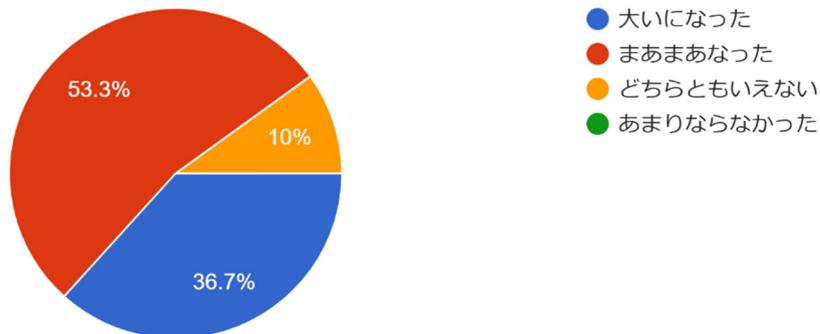
30件の回答



3. 今後の自己啓発の動機付けになりましたか

このセミナーは今後の仕事の動機付けになりましたか

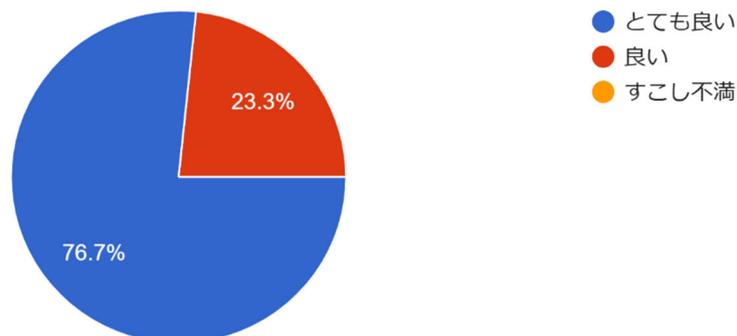
30件の回答



4. 講師について意見がありますか

講師について意見がありますか

30件の回答



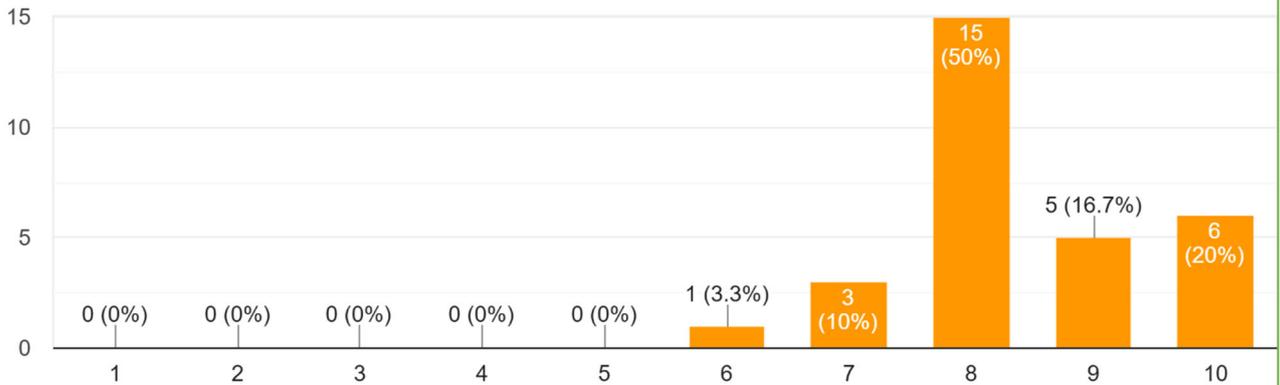
建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

5. この講習会を評価すると 10 点満点で何点ですか AVE：8.4

このセミナーを評価すると、10 点満点で何点ですか

30 件の回答



評価した内容について理由があれば記入下さい

- 時間が短く、講師も話しきれなかったのではないかな。
- 今まで受講した内容の中で一番良かった。
- とてもわかりやすく聞き取りやすい講義で有意義であった。本来は、会社の経営陣に聞いて欲しい内容ばかりであったので、社内で共有したい。
- もう少し資料の文書が見えやすいと良いかと思えます
- 自分の中でかなり参考になった。
- 建設業を変えていきたいという経営者の意気込みが感じられ、非常に参考になった。
- 大変、業務の参考となったから。
- 各企業の取組が進んでいる事に驚いた
- 講演内容は非常に参考になった。

6. このセミナー全体を通じて感じたこと、要望、提案等率直な意見があれば記入ください

- 話の流れが早すぎて、ついていけなかった。
- DX なしでは成り立たなくなるので、又同じような講習会が、受けたいと思います。
- 今回の業者様以外も話を聞いてみたい。
- 3番目のナガス工業社長の講演は非常に良かったのですが、手元に配られた資料の情報が少なく残念でした。もっと資料提供していただきたいです。
- 私自身は建設コンサルタントの技術部門に所属しているため、経営者や管理者にも色々DX で取り組んで貰えそうなことがあるのは目から鱗でした。
- セミナーは受注者向けの内容であったが発注者側も今後の建設業での働き方についての具体的な取り組み事例の勉強になった。
- 講演内容から受講者として、建設業の方々に多く聞いていただく内容かと思いました。

全体として行政関係やコンサルト関係の方が多かったと思います。

逆に言うと建設現場の実態に興味を持っていただいて、設計図書のエンドユーザ的な施工者に評価される設計成果や発注図書の品質向上を図られると良いと思いました。

建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

7. 今後の・セミナー講習会に取り入れてほしいテーマ・内容等があれば記入ください

- 労働力不足とDXに関する研修会
- 今回のセミナーで出た様な、働き方改革に繋がる新しいアプリ等の紹介。
- 3次元設計の最新技術の状況について
- 経理に関わる基礎講座。

8. 今回のセミナーに限らず、今後「島根県建設技術センター」に取り組んで欲しい内容や開催して欲しいイベントがあれば記入ください

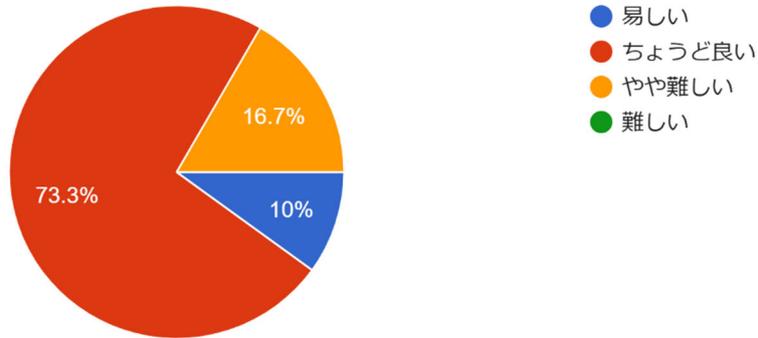
- 今回みたいなセミナーが自分の中では1番良い。ただ3次元データを作成して丁張りレスの仕事をしていまずみたいな内容はもう普通すぎて面白みが無い。
- ICT施工の現場見学会
- DX や i-con についての啓発・相談、アドバイザーやマッチング等の窓口。

建設技術セミナー2024

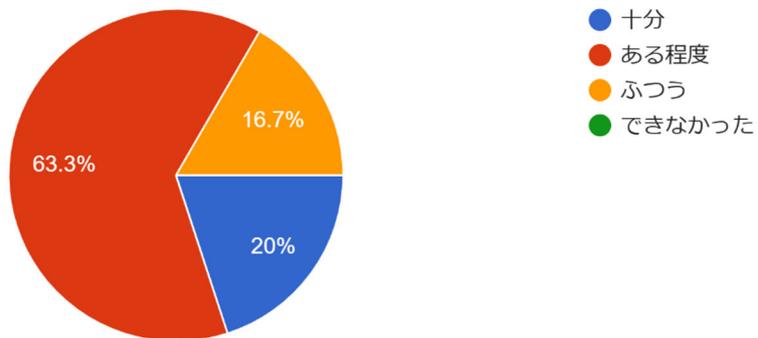
『建設業の働き方改革の一步先』受講確認シート集計結果

9. 講演「DXを活用した生産性向上事例紹介①」について

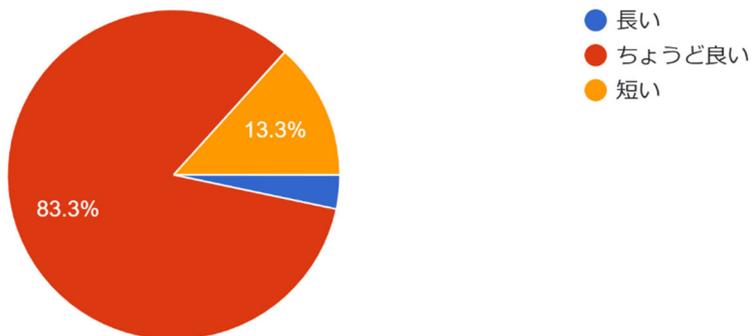
「DXを活用した生産性向上事例紹介①」の講義水準はどうでしたか
30件の回答



「DXを活用した生産性向上事例紹介①」の内容について理解できましたか
30件の回答



「DXを活用した生産性向上事例紹介①」の講義時間は十分でしたか
30件の回答



建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

講演「DXを活用した生産性向上事例紹介①」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

- もう少し時間があれば、具体的な話が聞けたと思う。
- 時間が短かったため、もっと講義を受けたかった。
- 企業秘密にしたい所もあると思います。
- 現実的には、対応できていない会社だったり、口ばかり先走って、対応が遅れている会社が多いのではと思う。
- DXを活用することで従来の「作業の効率化」から「現場全体の効率化」により生産性向上を目指しているというお話で非常に興味を持ちました。
- 実際に現場で取り組んでおられる方の、生の話が聞けて、非常に参考となった。
- (質問1:フロントローディング)

DX や i-con の目的である、生産向上にむけた地公共発注工事の現場課題は、発注における設計図書の精度や熟度不足があります。このことにより現場担当者は非常に苦勞し時間外が発生しています。発注者へ契約図書に基づく設計照査等を行い、報告協議を行っても、発注者の責任範囲においても対応が為されず、受注者の手弁当になっているケースが多いと思います。

このことについて、課題としての認識が広くあるのでしょうか？

また、認識されていれば、その対応策に考えがあればご教示願えないでしょうか？

※例えば、設計業務において発注者の監督員が技術力不足が懸念される場合など、工事でいう支援業務的なことによりクロスチェックを行うことはどうでしょうか？

(質問2:フロントローディング)

BIM/CIM による現場の見える化が推奨されるなか、設計業務の成果について同様の見える化を行うことは推奨されないのでしょうか？

せめて設計成果の平面計画、縦断計画や横断計画についての3次元データ化(CAD)を設計成果として設計図書に添付されても良いと思います。その程度は設計費用のアップ無しの範疇化と思います。

このことにより、現場の設計照査等や施工図作成が円滑に行われ、生産性向上が図れると考えますが如何でしょうか？

(質問3:担い手不足/処遇改善)

土木職員の給料について、スーパーゼネコンと地場建設会社では、とてつもなく給与差があると思います。何故大きく違うのでしょうか。

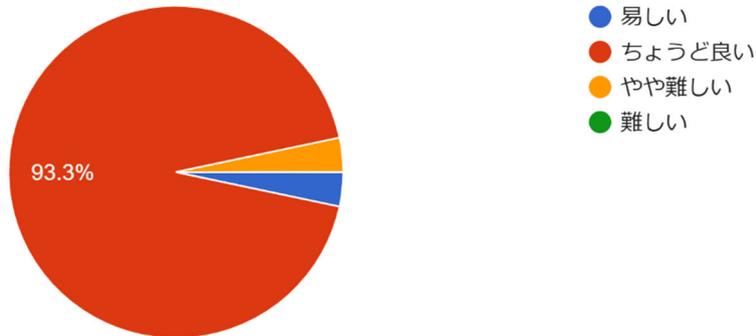
公共土木工事の場合、原資となる請負額は、積算基準が同じと感がえます。そこで会社の利益や社員の給料に差が大きく生ずる要因は何か、考えられる事があればご教示ねがえれないでしょうか？

建設技術セミナー2024

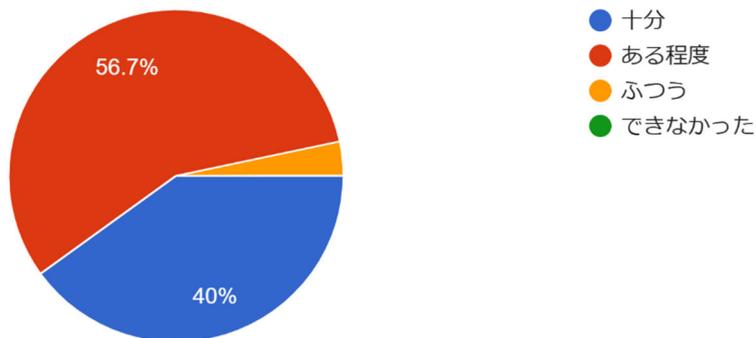
『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

10. 講演「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」について

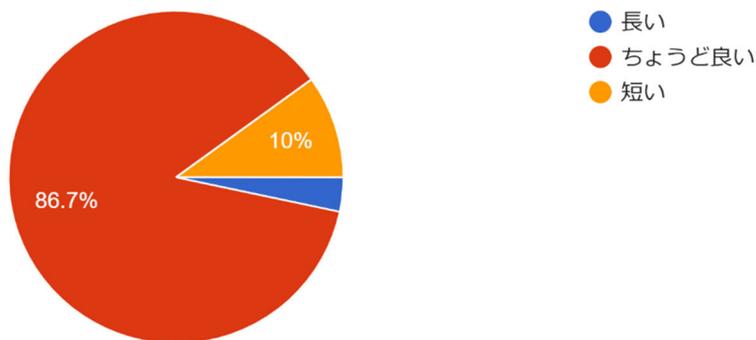
「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」の講義水準はどうでしたか
30件の回答



「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」の内容について理解できましたか
30件の回答



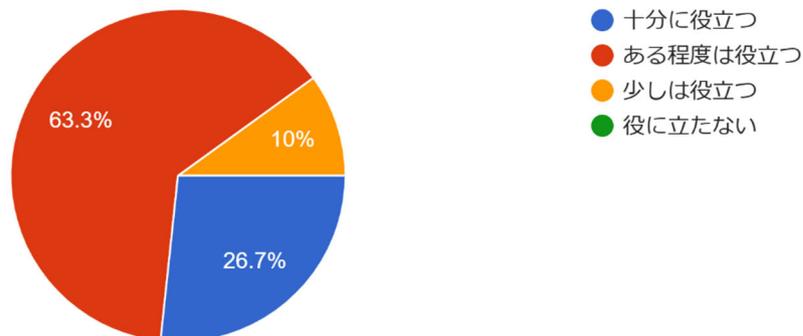
「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」の講義時間は十分でしたか
30件の回答



建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」は今後の仕事に役立ちますか
30件の回答



講演「土木工事マネジメントの新しい取り組み方」の意見・感想・要望・質問があれば記入ください

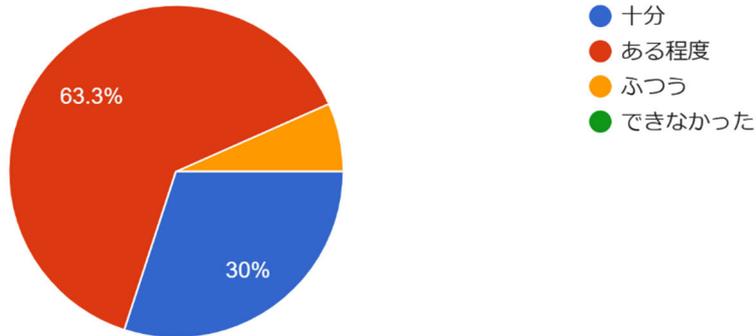
- 非常に共感する内容であった。経営トップの姿勢が会社の社風や社員の意識改革に繋がると感じました。当社も同様な組織体制ではあるが、やはりサポートメンバーの現場に関与する内容や意識が薄いため、サブメンバーとなってしまいがちである。
全員で現場を施工管理するという組織体制は理想です。
- 建設ディレクターという形の勤務は、自分が病気から職場復帰した頃に行っていましたが、確かに現場監督も現場管理で残業する事が無かったと思います。中小企業だと難しい体制なのかもしれませんが、人員を増やせば解決できると思うので、一般企業に広く浸透してほしいと思います。
- 理想を現実にした様な会社があるんだなと感心してしまった。
雇ってもらいたいくらいだった。
- 「Con Path」の取り組みは非常に有用なものだと感じました。建設会社だけでなくコンサルタント会社にも使えるとよいと思います。
- (質問1)
担い手不足のなか、若手採用が大きく伸びている事が非常に驚きでした。
どうやって、採用を伸ばせたのかご教示頂けないでしょうか？
(質問2)
ぶしつけな事を伺ってすみませんが、貴社の会社状況のなかで、売上高 21 億円、社員数 74 人(1 級 27 人)、平均年齢 41 才とありました。
もしよろしければ、新採初任給と平均年収を教えてくださいませんか。

建設技術セミナー2024

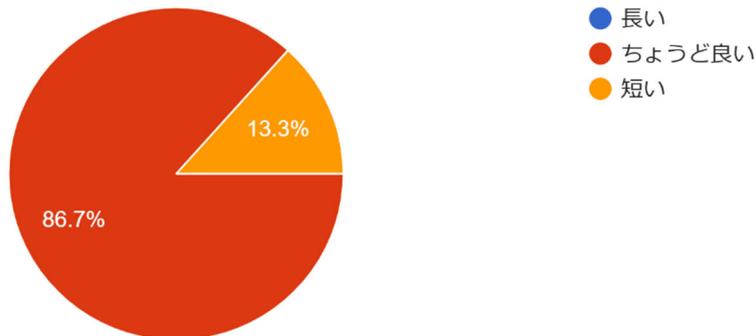
『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

11. 講演「DXを活用した生産性向上事例紹介②」について

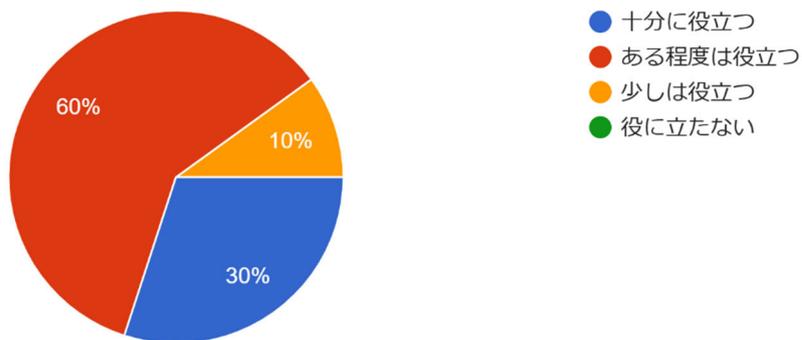
「DXを活用した生産性向上事例紹介②」の内容について理解できましたか
30件の回答



「DXを活用した生産性向上事例紹介②」の講演時間は十分でしたか
30件の回答



「DXを活用した生産性向上事例紹介②」の講演は今後の仕事に役立ちますか
30件の回答



建設技術セミナー2024

『建設業の働き方改革の一步先』 受講確認シート集計結果

講演「DXを活用した生産性向上事例紹介②」の意見・感想・要望・質問があれば記入してください。

- 高額なチルトローテーターを使用してセメント改良をされていた事にビックリしました。
最後の新社屋にもビックリしました。
- 綺麗な事務所で働く気持ちが湧きそうでした。
- 非常に参考になった。
管理費が掛かるとはいえ、自社機械でだからこそその強みもあると思う。
- 従前の3Kのイメージを払拭するようなカッコいい4Kを実現されていることがよくわかりました。島根県でもこのような企業が増えると地元定着が進むと思います。
(感想)
- 経営理念のビジョン「働きやすさとやりがいがあり、たよる人々が活躍できる企業」はとてもよいと思いました。
小規模土工のICT活用事例は非常に参考になりました。(マシンコントロール、チルトローテーター)
土木現場が4K(給与・休暇・希望、カッコイイ)になれると思いました。

建設技術セミナー2024「働き方改革の一步先」質問票

項目	DXを活用した生産性向上 事例紹介①	
講師	日本マルチメディア・イクイップメント株式会社 代表取締役 高田 守康	
	質問者	受講者番号18
①	質問	<p>(質問1:フロントローディング)</p> <p>DXやi-conの目的である、生産向上にむけた地公共発注工事の現場課題は、発注における設計図書の精度や熟度不足があります。このことにより現場担当者は非常に苦勞し時間外が発生しています。発注者へ契約図書に基づく設計照査等を行い、報告協議を行っても、発注者の責任範囲においても対応が為されず、受注者の手弁当になっているケースが多いと思います。このことについて、課題としての認識が広くあるのでしょうか？また、認識されていれば、その対応策に考えがあればご教示願えないでしょうか？</p> <p>※例えば、設計業務において発注者の監督員が技術力不足が懸念される場合など、工事でいう支援業務的なことによりクロスチェックを行うことはどうでしょうか？</p>
	回答	<p>ご指摘の課題は、全国の公共工事の現場において広く認識されている重要な問題であると認識しています。発注者側の設計図書の精度不足や瑕疵の問題、監督員の熟度不足や技術力のばらつき、そして受注者への対応が不十分なことにより、受注者が負担を強いられるという現実、多くの現場で見られる課題です。</p> <p>このような状況に陥った経緯や原因は、戦後復興期から高度成長期、バブル経済崩壊後の30年超のデフレ経済、近年の資材価格の高騰や人手不足など多くの要素がからんでおり、簡単に解決できる問題ではありません。</p> <p>公共工事を遂行する過程で発生する膨大な業務や作業を、発注者と受注者がどのように分担・分業してスムーズに遂行するのか、というモデルに置き換えて解決策を探ることがヒントになります。発注者は「発注業務」に重きを置かざるえない一方で、受注者は工事の「請負」を完遂することが求められ、発注者と受注者の分担・分業の境目をどこに設定し、どのようにルール化するのか。さらに発注者の監督員と受注者の代理人、監理技術者・主任技術者の技術力やスキルマップ、工事内容や現場環境など、その組み合わせは千差万別ですから、ケースバイケースで柔軟に対応方法を著性していくのが現実解だと考えます。</p> <p>(ご提案の「支援業務によりクロスチェックを行う」も有効な手段です。さらに発注者職員のスキルアップ研修や契約による責任範囲と費用負担の明確化も大事ですが、これらは既に取組みがなされていると思われます。)</p> <p>そのための費用と時間を確保することが、受注者の矜持だと思います。必要なコストは請負額の中に確保しつつ、競争して落札するバランス能力が企業には求められています。さらに時間の確保については、次のような取り組みが増えています。</p> <p>リーコンストラクションやリーコンマネジメントでは、作業時間を「付加価値作業」と付加価値作業を支える「付随作業」と付加価値を生まない「ムダ」に分類して、ムダを徹底排除することに取り組んでいます。発注者と受注者が協力しあって建設DXを実現してムダな時間を排除し、設計照査や協議などの不随作業に必要な時間を確保することが重要だと考えます。</p>
	質問者	受講者番号18
②	質問	<p>(質問2:フロントローディング)</p> <p>BIM/CIMによる現場の見える化が推奨されるなか、設計業務の成果について同様の見える化を行うことは推奨されないのでしょうか？</p> <p>せめて設計成果の平面計画、縦断計画や横断計画についての3次元データ化(CAD)を設計成果として設計図書に添付されても良いと思います。その程度は設計費用のアップ無しの範疇化と思います。このことにより、現場の設計照査等や施工図作成が円滑に行われ、生産性向上が図れると考えますが如何でしょうか？</p>
	回答	<p>ご質問のとおり、設計成果として3次元モデルのデータが納品されて、施工段階の設計照査や施工図作成の負担が大幅に低減することが、BIM/CIMの目的となっています。</p> <p>原則義務化2年目を迎えたBIM/CIMに関する報告会に参加したのですが、国土交通省大臣官房参事官(イノベーション)グループの榎谷企画専門官の発表資料「国土交通省におけるBIM/CIMの取り組みについて」によると、3~5年程度のLEVEL2を経て、将来的に目的を達成する計画となっています。</p> <p>さらに建設コンサルタンツ協会(パシフィックコンサルタンツ)と日本測量調査技術協会(パスコ社)、日本建設業連合会(大林組)の各位のご説明からも、その方針に沿って研究開発ならびに現場実践を進めている旨の説明がありました。</p>

建設技術セミナー2024「働き方改革の一步先」質問票

③	質問者	受講者番号18
	質問	(質問3: 担い手不足/処遇改善) 土木職員の給料について、スーパーゼネコンと地場建設会社では、とてつもなく給与差があると思います。何故大きく違うのでしょうか。 公共土木工事の場合、原資となる請負額は、積算基準が同じと考えます。そこで会社の利益や社員の給料に差が大きく生ずる要因は何か、考えられ事があればご教示ねがえれないでしょうか？
	回答	スーパーゼネコンや準大手ゼネコンが狙う市場(都市部の再開発などの大型プロジェクト)と地域建設業の市場(一般的な公共工事)とは、技術的な難易度や事業費の規模などが大きく異なる、という外部環境の違いが大きいと思われます。 例えばスーパーゼネコンでも給与水準が高いとされる清水建設でも、2023年3月期は、付加価値額1100億円に対して、従業員給料手当が217億2000万円で、労働分配率19.7%でしかなく、貴社の労働分配率は、はるかに高いと思われます。 その一方で、地域建設業は同質化競争にさらされており、請負額が叩き合いで低下しがちなこと、企業の内部留保が多いことから、各社が横睨みで給与水準が頭打ちになりがちです。(逆にスーパーゼネコン同志は近年、高度な若手人材確保のため、驚くような高い給与を支給しています。) この現状を打破するために、他社より圧倒的に高い生産性を達成すること、自社独自の技術力を開発して同質化による価格競争から脱出すること、高付加価値な新市場に転出すること、などにより給与水準を高めている企業があります。

項目	土木工事マネジメントの新しい取り組み方	
講師	伊米ヶ崎建設株式会社 代表取締役 櫻井 馨	
①	質問者	受講者番号18
	質問	(質問1) 担い手不足のなか、若手採用が大きく伸びている事が非常に驚きでした。 どうやって、採用を伸ばせたのかご教示頂けないでしょうか？
	回答	この質問につきましては、講師の方から回答をいただけませんでした。
②	質問者	受講者番号18
	質問	(質問2) ぶしつけな事を伺ってすみませんが、貴社の会社状況のなかで、売上高21億円、社員数74人(1級27人)、平均年齢41才とありました。 もしよろしければ、新採初任給と平均年収を教えてくださいませんか。
	回答	この質問につきましては、講師の方から回答をいただけませんでした。



